

# マグマ塩の説明の仕方マニュアル

平成十八年八月 木村道紘

Q マグマ塩って何ですか？

A チベット高原で採れる、活性酸素を消去する「還元力を持った岩塩」です。



Q 岩塩って何ですか？

A 岩塩とは、今から5億年前から200万年前にかけて、海にあった大陸が地殻変動で現在の陸地に移動し、そこに溜まっていた海水の水分が蒸発して結晶化し、層となったものです。古い地殻の上に火山の噴出物で成り立っている日本には岩塩はほとんどありませんが、世界にはいたる所にあります。中国や欧米では塩といえば岩塩が主流です。

Q なぜ標高5千メートルのチベット高原から、岩塩が採れるのですか？

A チベット高原は、太古は何億年間も海（テチス海）の底でした。その後地殻変動により海底が隆起して陸地となり、さらに約5千万年前にインド亜大陸が衝突してきて隆起し、ヒマラヤ山脈と世界最大の高原チベットとなりました。



Q マグマ塩は、いつ頃、どうやってできたのですか？

A およそ3億8千万年前にできたといわれています（化石）。海の水も空気もまだ汚れていなかった時代の高濃度のミネラルが濃縮しています。結晶化した岩塩が地殻変動の際、一千度を超える地中のマグマ熱で地質レベルの期間（数十万年〜数億年）熱せられ、融解・再結晶しました。硫黄を多く含むのはそのためと考えられています。豊富でピュアな天然ミネラルがマグマのエネルギーを有した、まさに地球そのものとも言える塩です。

Q マグマ塩は、どうして赤いのですか？

A これは、まだ、よく解かっています。

Q 活性酸素ってなんですか？

A ヒトの生命活動は、呼吸により酸素を取り入れ、身体の隅々にまで酸素を運び、炭水化物や脂質などを燃焼（酸化）させてエネルギーを得て行われています。そしてこの時、同時に危険な「活性酸素」というものも作られています。この「活性酸素」こそが、体内の細胞をますます酸化させ、細胞の正常な働きを失わせ、老化や病気を進めてしまう真犯人です。シミやシワなどのほか、ガン・動脈硬化・糖尿病・老人性痴呆・白内障といった大変な病気の引き金にもなります。



Q 還元力ってなんですか？

A 私達の身体は生きるために連続して酸化反応が起こっていますが、それと同時に「還元反応」も起こし中和状態を維持しているため、健康を保っています。鉄でいえば赤く錆びた(酸化した)釘をピカピカの銀色に戻す作用です。しかしこの「還元反応」システムにも限界があり、ストレスや過労、病気などにより大量の活性酸素が発生した時はカバーしきれません。さらに40歳を過ぎると「還元力」もだんだん老朽化し、「活性酸素」に抵抗できなくなってきました。



老化を防ぐためには、できるだけ「活性酸素」を発生させないような生活の工夫と、「還元力」が強化される食生活をする事です。身体の中の「還元反応」に必要なのが、亜鉛、マンガン、マグネシウム、鉄などの、マグマ塩に入っているミネラルなのです。

Q じゃあ、ミネラル含有量の多さが売りの天然塩なら、同じく「還元力」はあるの？

A 【いのちと塩(佐藤稔・佐藤秀夫共著)】によると、酸化還元電位(ORP)メーターで検査した結果、一般的に天然塩、岩塩と言われているものはプラス141〜420の大きな酸化力を示しました。しかし、「マグマ塩」は数粒水道水に入れるだけでマイナス200〜500の還元水を示します。これは「マグマ塩」の成分が海や空気が汚れていなかった頃のものであり、さらに地中で長い年月の間、マグマ熱で焼かれ、酸素・窒素や有機物が出て行って浄化された塩が、閉じ込められそのまま化石となったからで



す。ですから、「マグマ塩」と同じような還元力を持つ塩を作るためには、マグマ熱と同じような熱エネルギーやその他の要因を与えなくてはなりません。これは通常では不可能です。

Q マグマ塩を使用すると、どんな効果が現れますか？

①老化や病気の原因である活性酸素を中和します(解毒作用)。具体的には体内の酸化物を還元して水に戻し、老廃物として体外に排泄します。

②中性脂肪や総コレステロールを下げ、血をきれいにします(浄血作用)。

③強い消炎作用があります。肩こり、打撲、皮膚炎症への湿布、目、鼻、喉の洗浄、歯痛へのすり込みでも効果があります。

④強い殺菌作用があります。歯を磨けば虫歯や歯槽膿漏が改善します。免疫力を高める効果もあります。

